

# 行動モデル 夏の学校 芝浦工業大学Aチーム

小山 田中 岡本 山口 藤原 川村

# 着目点：個人の滞在時間・場所

交通手段選択は

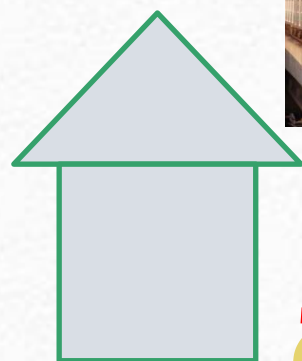
- ✓ 次の予定の滞在時間
- ✓ 駐車場料金
- ✓ 滞在場所の数

などなど



Ex.会議尽くし

駐車場料金…



何か所も寄らないといけない

# 仮説

- 駐車料金がかかる場合、滞在時間が長くなればマイカーの効用が低下

➡ マイカーを避ける

- 滞在場所が多いと移動のたびに運賃がかかる

➡ バスを避ける

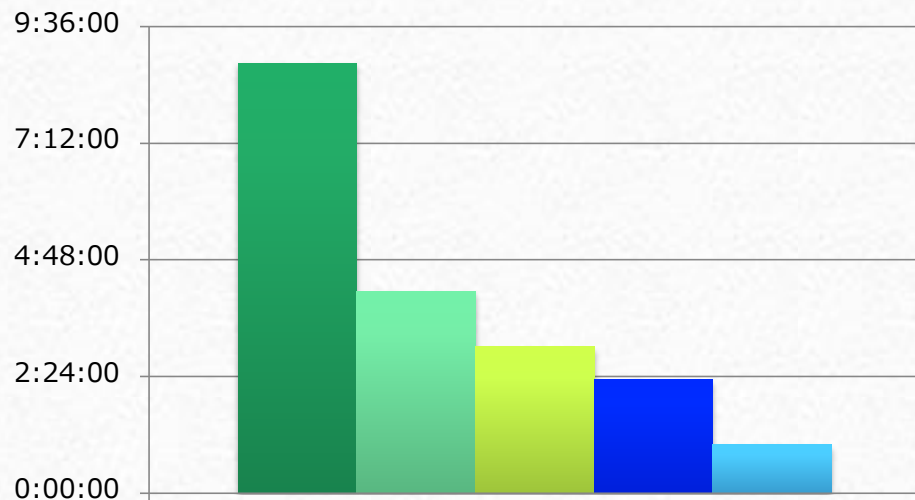
- 遠距離ならば滞在時間が長く

➡ 鉄道を利用

などなど

# 平均滞在時間

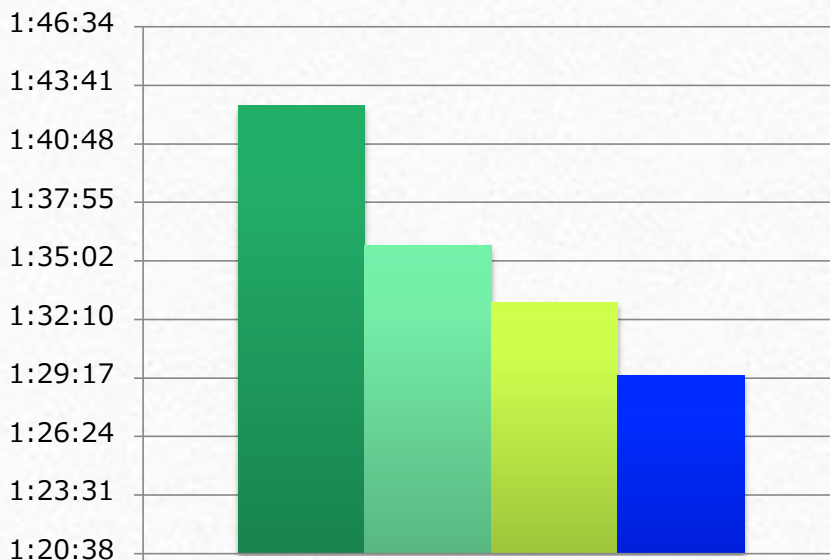
# (買い物・娯楽・その他)



目的別

- 会社
- 社外業務
- 娯楽
- 食事
- 買い物

1



- 鉄道
- 自転車
- 自動車
- 徒歩

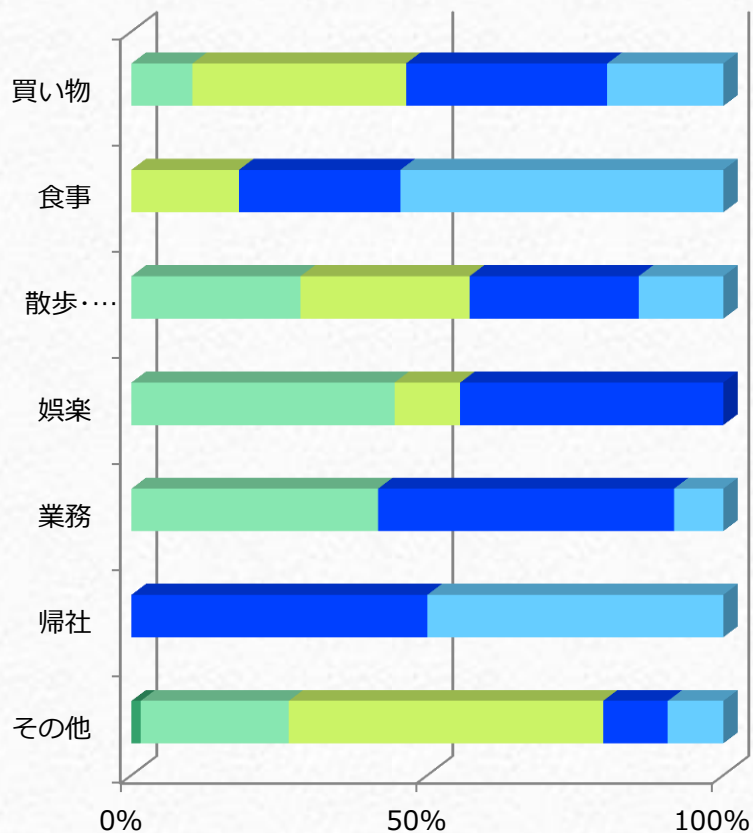
1

交通手段別

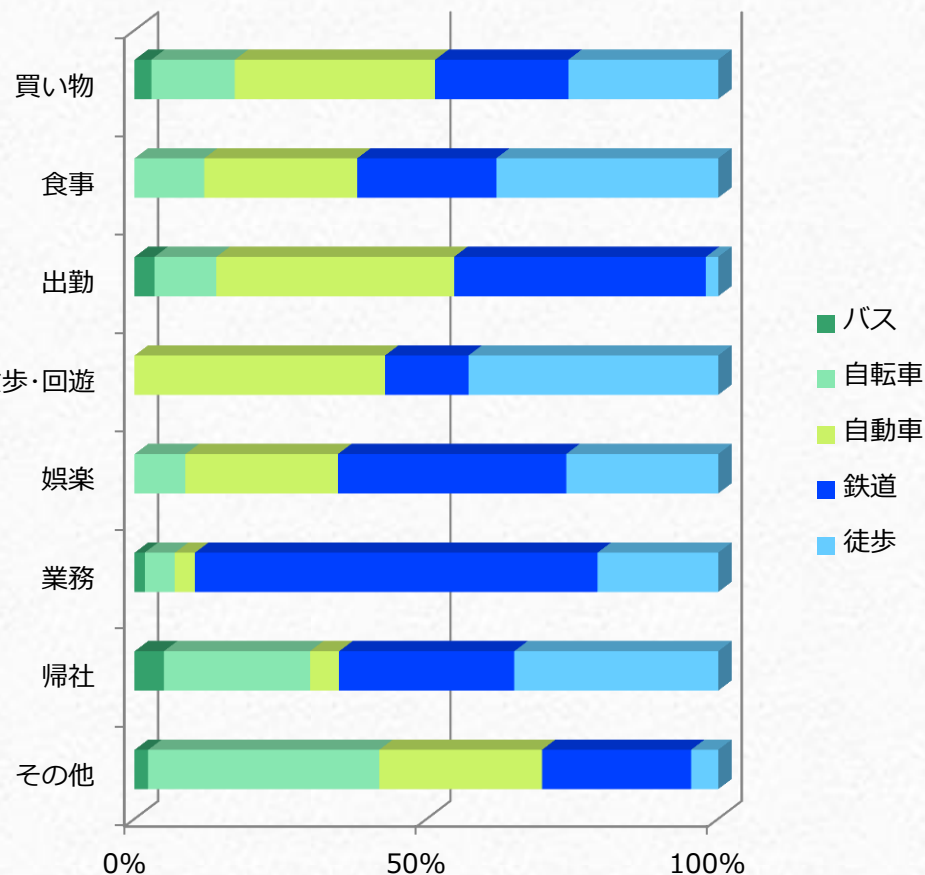
# 滞在時間ごとの目的と手段

イマイチ…

1時間未満 N=224

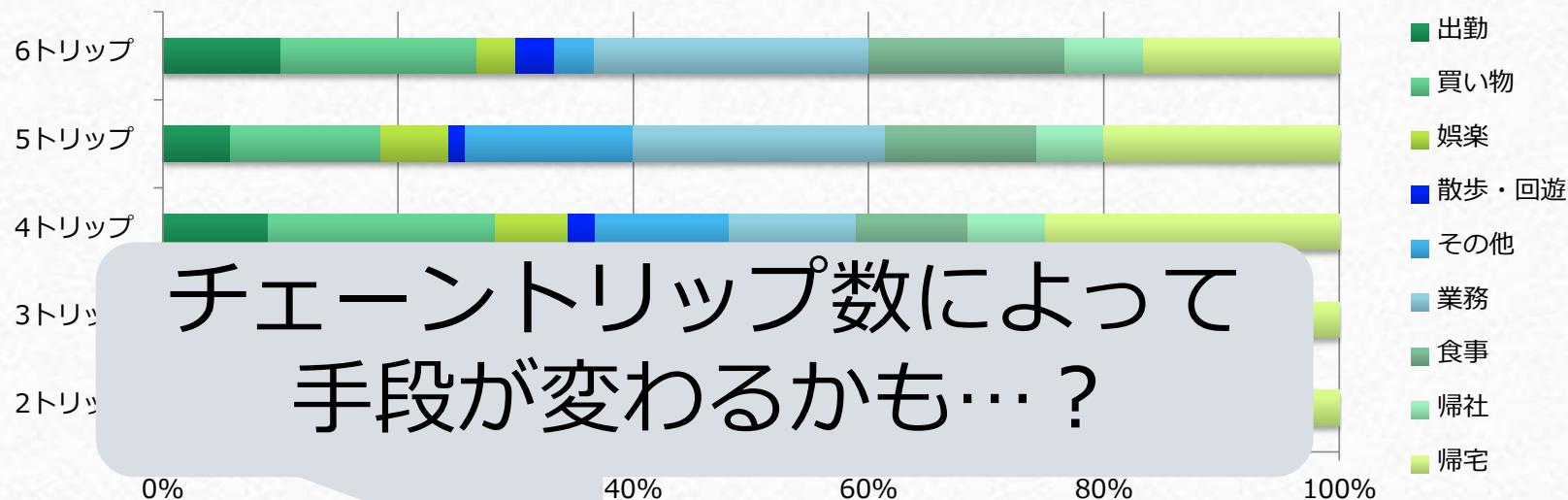


1時間以上 N=464

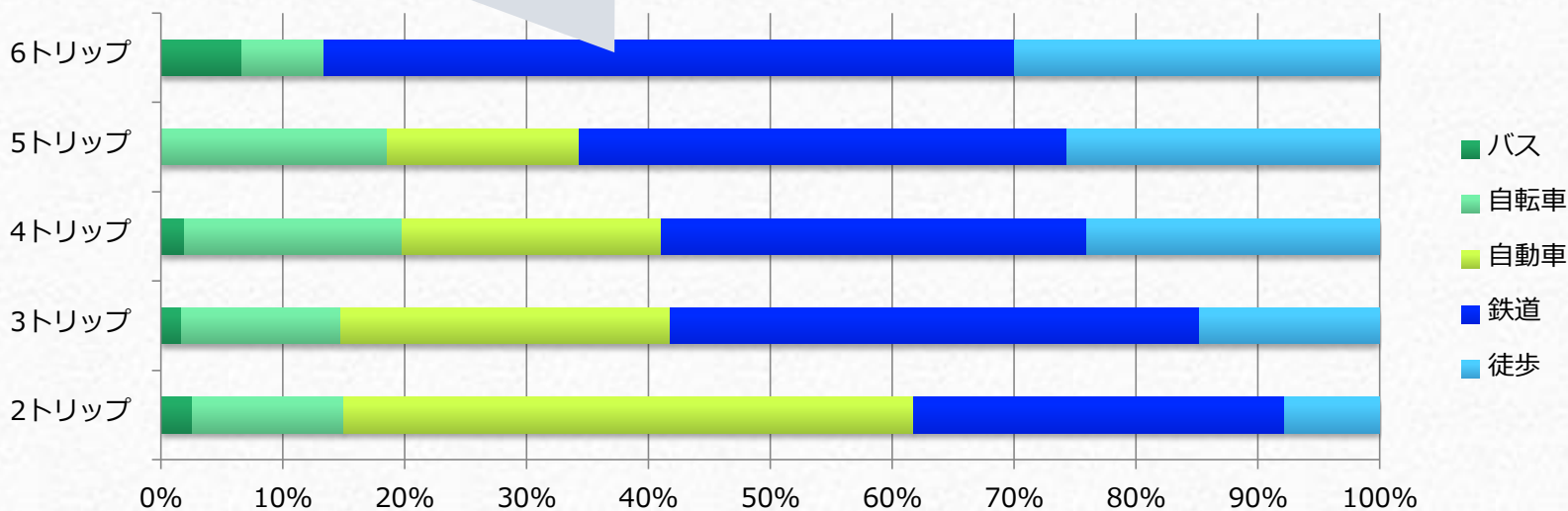


# チェーントリップ数ごとの目的と手段

目的 N=688



手段 N=688



# NLモデル作成案

滞在時間 < 1h

滞在時間 ≤ 1h

上手く出来ませんでした

$$V_{\text{rail}} = \theta_t T_{\text{rail}} + \theta_c C_{\text{rail}} + \theta_{\text{rail}}$$

$$V_{\text{bus}} = \theta_t T_{\text{bus}} + \theta_c C_{\text{bus}} + \theta_{\text{bus}}$$

$$V_{\text{car}} = \theta_t T_{\text{car}} + \theta_c C_{\text{car}} + \theta_{\text{car}}$$

...

**ご清聴ありがとうございました**